

令和 8 年度 愛媛県立新居浜工業高等学校

重点努力目標

自ら学び、自ら鍛え、たくましく生きる生徒の育成

—ものづくりを通じた人づくり、夢づくり、そして、魅力ある学校づくり—

- 1 人としての在り方生き方を身に付けた心豊かな生徒の育成
- 2 確かな学力の定着と実践的キャリア教育の推進による進路の実現
- 3 自己有用感を高め、充実感や達成感を味わえる活動の推進
- 4 地域を愛する優しい心と貢献する意欲を持った人材の育成

マニフェスト

1 人としての在り方生き方を身に付けた心豊かな生徒の育成

- 基本的な生活習慣の定着に努め、生き生きと活動できる健やかな心身の形成を図る。
- 学校行事やボランティア活動、委員会活動、部活動などを通して、調和の取れた心身の発達を図る。
- 自己理解や他者理解を深め、社会の一員としての自覚や規範意識の向上に努める。
- 政治や選挙、消費者問題に対する関心を深めるとともに、主権者・消費者としての在り方について適切な判断力を身に付ける。
- 安全委員会の活動などを通して、安全と環境保護に関する意識を高める。

2 確かな学力の定着と実践的キャリア教育の推進による進路の実現

- きめ細かな教科指導により、確かな学力と技術・技能の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びを取り入れ、思考力、判断力、表現力を育成する。
- 読書習慣を身に付けさせ、豊かな感性や創造力を育成する。
- 各種資格・検定の取得を奨励し、専門的な知識や技術・技能の定着を図る。
- 地域産業界と連携したものづくり教育を推進し、社会的・職業的な自立に向けて必要な資質・能力の向上を図るとともに、次世代のマイスター人材を育成する。

3 自己有用感を高め、充実感や達成感を味わえる活動の推進

- 学校行事や部活動に自主的・主体的に参加することにより、自己有用感や責任感、連帯感を高める。
- 奉仕活動やボランティア活動を通して、豊かな人間性や社会性を育成する。
- 部活動やものづくり競技大会などの参加を通して、充実感や達成感を得るとともに、その成果を内外に発信し、学校の活性化を図る。

4 地域を愛する優しい心と貢献する意欲を持った人材の育成

- 地域の「ものづくり教室」や「出前授業」などの活動を通して、社会に貢献するとともに、地域理解に努め地域に貢献する心を育成する。
- ボランティア活動や様々な世代の方々との交流を通して、地域を思う優しい心を育成する。
- 道具や物を大切に扱う心を養い、一人前の工業技術者として次代のものづくりを担う人材を育成する。